

2013年12月

伊豆沼・内沼 サンクチュアリセンターニュース Vol. 42



(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
ホームページ: <http://izunuma.org/>
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp

自然体験講座 第8回「ガンの飛立ち観察会」



11月17日(日)、「ガンの飛立ち観察会」を開催しました。参加者、宮城県内を始め、遠くでは関東方面からいらした方々で、伊豆沼でガンの飛立ちを観察した後、ラムサールツアーとして蕪栗沼や化女沼をバスで巡りました。現地では、それぞれの地域で環境保全に取り組んでいるNPOの方々にご案内を頂きました。

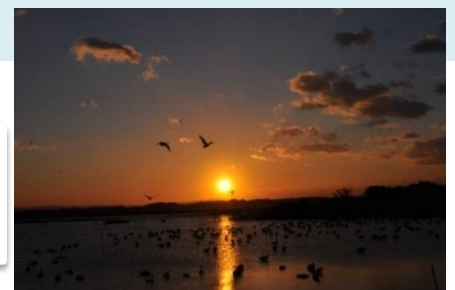
年末年始のお知らせ

初日の出を伊豆沼・内沼で見ませんか？

休館日：平成25年12月30、31日

特別開館日：
平成26年1月1日～平成26年1月5日

日の出
6時30分頃



伊豆沼・内沼いきもの図鑑

オオハクチョウ *Cygnus cygnus*

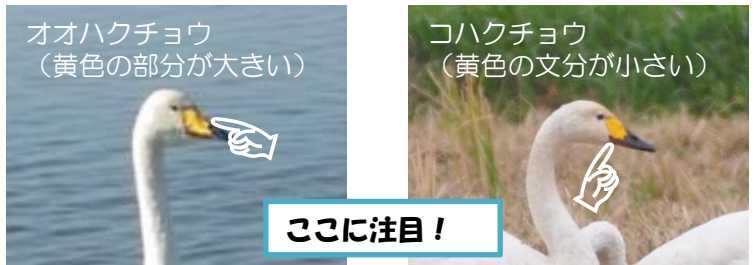


伊豆沼・内沼で見られる時期: 10月上旬～2月上旬
 伊豆沼・内沼で見られる場所: 沼・沼周辺の水田
 食べ物: 落ちもみ・レンコン・マコモの地下茎

主に湖や池沼などに生息します。伊豆沼・内沼には、毎年2,000～3,000羽のハクチョウが越冬のため飛来し、この数は、日本一となっています。

沼周辺を散策すると、レンコンを食べたりするなど様々なオオハクチョウの姿を見ることができます。

【オオハクチョウとコハクチョウの見分け方】



オオハクチョウ
(黄色の部分大きい)

コハクチョウ
(黄色の文分小さい)

ここに注目!

クチバシの黄色い部分の大きさが見分けるポイントです!

【オオハクチョウの主な観察ポイント】

水の中に顔を突っ込んでハスの地下茎(レンコン)を食べています。

休息中のハクチョウが多くみられます。

まじかまでハクチョウがみられます。

まじかまでハクチョウがみられます。

落ちモミを採食中のハクチョウ

沼に多いのはオオハクチョウ、川に多いのはコハクチョウです。

渡り鳥生息調査

伊豆沼・内沼 (11月21日調べ)

ガン類	61,099羽
ハクチョウ類	1,511羽
カモ類	1,540羽
合計	64,150羽



マガン